

婦人科 MRI 検診



婦人科疾患の現状等について

一般的の「子宮頸がん検診」では、子宮頸がんについて調べる検査を行いますが、女性に多い子宮筋腫や子宮内膜症、卵巣のう腫については十分に調べることができません。

特に子宮筋腫は、子宮にできる良性の腫瘍で、婦人科疾患のなかで最も多く発生します。成人女性の3~4割に子宮筋腫があるといわれており、生殖年齢の女性では4~5人に1人が罹患しています。

子宮腫大により、過多月経による貧血などの症状が出現する場合もありますが、特に症状なく進行することも多く、やがて周囲臓器の圧迫により頻尿、排尿困難、便秘や腰痛を生じる場合があります。不妊や流早産の原因となる場合もあります。

また、子宮内膜症は、子宮の内側を覆う「子宮内膜」に似た組織が、子宮の内腔以外の場所(腹膜、卵巣、卵管、腸など)にできてしまう病気で、月経困難症の主要な原因となります。

婦人科MRI検診は、子宮筋腫や子宮腺筋症、子宮内膜症、卵巣のう腫などの良性疾患の早期発見に役立つ検査となっています。

検査内容について

婦人科(腹部)MRI検査

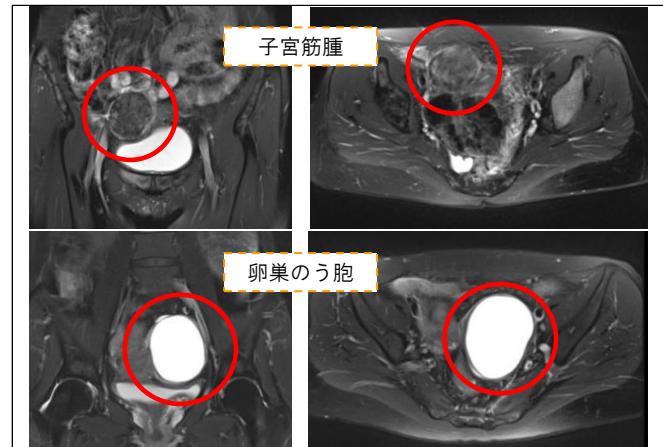
婦人科のMRI検査は、子宮や卵巣などの骨盤内臓器を画像化して診断する検査です。

強力な磁石と電波を利用したMRI装置を用いた検査になり、放射線を使用することなく、被ばくの心配はありません。

検査着を着たまま、仰向けで寝ているだけの安心な検査となります。

MRI検査では、超音波検査よりも詳細に病変の大きさや広がり具合、周囲臓器との関係性がわかります。

検査時間は15分程度と比較的短く、身体への負担もない検査です。



費用及び確認事項等について

腹部MRI検査	NEW	検診費用
使用機器	MRI(磁気共鳴断層撮影装置)1.5T SIEMENS MAGNETOM Avanto	※ ドックオプションも同額
費用	5,000円(税込)	※当面の間

※ 検診当日は、MRI撮影のみで診察はありません。検診結果につきましては、画像データと併せ後日郵送いたします。

—— MRI検査を受けるにあたって ——

MRI装置は、強力な磁石を使用していますので、金属類を検査室へ持ち込むことはできません。

- 以下の方は検査を受けることができません
 - ・心臓ペースメーカー等を使用している方
 - ・金属製の心臓人工弁を使用している方
- 以下の方は検査を受けられないことがあります
 - ・人工関節等の金属類が体内に入っている方
 - ・妊娠、または妊娠されている可能性のある方
 - ・アートメイク・刺青・タトゥーを入れている方

受診予約

受診希望日の2週間前までに、電話または受付窓口にて御予約ください。

TEL:0264-22-2703(内線 2111) [月～金曜日] 午前8時30分～午後5時 人間ドック担当まで